

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成30年度採択テーマ 中間評価結果

テーマおよび概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	流木と石礫を効果的に捕捉する砂防堰堤の鋼製フレーム構造に関する研究	中央大学研究開発機構 機構准教授 福田朝生	本研究は計画通りに順調に進捗しており、今後の発展に期待する。
概要	本研究は、様々な形状の石礫や流木の個々の運動とその周りの水流を、力学の基礎原理に基づき詳細に解析することができる新しい固液混相流解析法を構築し、この解析技術を活用し鋼製フレームの形状を様々に変化させた砂防堰堤モデルを対象に、土石流が堰堤に衝突する大規模な数値シミュレーションを実施し、これらの結果の分析から流木と石礫を効果的に捕捉することができる砂防堰堤の鋼製フレーム構造を検討するものである。		
テーマ	微地形が泥流型土石流の水面形の変化に及ぼす影響の解明	九州大学大学院農学研究院 准教授 水野秀明	本研究は計画通りに順調に進捗しているが、今後の調査手法についてより明確化して研究を進められたい。
概要	土石流は、川幅の急縮や急拡、湾曲といった地形を通過する際、攪乱波やせきあげ背水を引き起こし、水面形を大きく変化させる。それによる氾濫を防ぐため、土石流導流工は地形の変化地点において十分な断面を有しないといけない。そこで、水面形を推定する精度を向上させるため、鹿児島県で発生する、シルトや粘土を多く含む土石流のレオロジー特性を明らかにするとともに、水面形の簡易的な予測手法を開発することを目的とする。		

(五十音順、敬称略)